

VOL.140

農協からのお便り

11
2019

グリーン
Green

地域と農業をむすぶJA広報誌

今月の表紙

旬の愛別きのこ
舞茸共同選果



豊里地区
(農)タッグ
舞茸のパック詰め作業

TOPICS

- ・食べるたいせつ
フェスティバルin旭川
- ・JAグループ
かみかわ農業祭

他



9月28日(土)
旭川大雪アリーナ
食べるたいせつフェスティバルin旭川

コープさっぽろ主催

人とつながる、食でつなげる。



コープさっぽろ主催の「食べる・たいせつフェスティバル 2019 in 旭川」が大雪アリーナで開催されました。会場には78のブースが設けられ、体験イベントやこだわり産品の試食・販売などが行われました。

当JAのブースでは、コープ産直「黄金育ちの大雪高原牛」をサイコロステーキにして準備した約2千人分の試食がなくなり、又400杯用意した「愛別きのこ汁」は特別価格1杯100円で完売するなど、多くの家族連れで賑わうイベントでした。



JAグループかみかわ農業祭 「豊かな大地の美味しさ届け、」

魅力がいっぱいのJAブースを準備



上川地区農協組合長会と13JA主催の『JAグループかみかわ農業祭2019』が旭川地場産センターで開催されました。

上川の豊かな大地と自然が育んだ農畜産物の美味しさ、安全性を一般消費者に広くPR、上川管内50万人の「食」と「農」への関心を高め、農業の重要性やJAの役割について理解を深めて頂くイベントとなっております。

当日は、青年部協議会・女性部協議会によるワークショップ（しめ縄づくり・かぼちゃランタン・乳搾り



体験）や、上川地区13JA自慢の農畜産物や毎年恒例となっている限定200食の「かみかわカレー」が販売されました。

当JAブースの「大雪高原牛サイコロステーキ」・愛別ぎのこ汁」・「大雪高原じゃがフライドポテト」は早くに完売、きのこセットやそば乾麺セットなども好評でした。

会場イベントでは農産物詰め放題や各JA特産品の大抽選会、最後にはステージイベントで農家バンドが会場を盛り上げました。

青年部・女性部みんなで販売



10月14日(祝)
旭川地場産センター
JAグループかみかわ農業祭2019



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 飛田 稔章

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

て、農協法が制定され、農協が設立されました。

本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的とし

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通

や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしているところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきています。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな

魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムの一つとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様から夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

お知らせ 組合員資格の確認について

平素より、当組合の事業運営にご理解・ご協力・ご利用を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、平成23年2月に「農業協同組合等向けの総合的な監督指針」が施行され、組合員の資格確認が必須となり、併せて当組合の定款第15条（資格変動の申出）により組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくこととなっております。

つきましては、組合員資格区分・住所・氏名・勤務地等に変更・修正があった場合は、お手数ではございますが当組合本所または支所にて手続きをお願い申し上げます。

なお、当組合の地区内とは、愛別町・上川町の区域となっており、組合員資格はつぎのとおりとなっております。

正組合員資格

- 1 50アール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあるもの
- 2 1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
- 3 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

※農用地利用改善事業実施団体の構成員に係る組合員資格の特例

農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用改善事業実施団体の構成員であるもののうち、当該利用権の設定前に又は設定後遅滞なくこの組合に申出をし、理事会において確認を受けたものは、引き続きこの組合の正組合員とする。

准組合員資格

- 1 当組合の地区内に住所があり、当組合の事業を利用することが適当と認められる個人
- 2 勤務地が当組合の地区内にあり、資金の借入、貯金・定期積金、生産資材・生活物資の購入、共済加入のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 3 住所が当組合の地区外にあり、生産資材・生活物資の購入、生産する物資の運搬・加工・貯蔵・販売又は特定農地貸付のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 4 この組合の地区の全部又は一部を地区とする農業協同組合
- 5 農用地利用改善事業を行う団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの
- 6 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

加入内容に変更のあった方は申し出が必要となりますので、本人確認が出来る公的書類（住民票・運転免許証・健康保険証等）・印鑑を持参の上、本所または支所までお越し頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<<問い合わせ先>>

上川中央農業協同組合 本所総務係 ☎ 6-5311
支所管理係 ☎ 2-1111



農協 年金友の会 (愛別・上川合同)

ゆ 温泉湯治

日程 令和元年11月26日(火)～29日(金) 3泊4日 のご案内!!

場所 層雲峡温泉 ホテル大雪 ※ホテル客室改装により全室禁煙となります

負担金 3泊：24,000円 2泊：16,800円 1泊：8,500円

参加資格 当JAの年金友の会会員、または57歳以上でこれから当JAで年金受給予定の方

その他 送迎は初日と最終日以外ありませんので、途中で参加される方や途中で帰られる方は、各自対応願います

《温泉湯治行程》

1日目 JA 出発 14:30 (ホテル到着後自由行動)

2日目 クイズ大会・室内パーゴルフ 夕食は宴会

3日目 輪投げ大会・カラオケ大会 夕食は宴会

申込期日 11月8日(金)まで

本所 貯金係 ☎6-5312
支所 貯金係 ☎2-1112

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合 JAと農業

監修=JCA (日本協同組合連携機構)

農協法と農業協同組合

戦後、地主から小作人へ農地が解放され、多くの農民は自ら所有する農地で農業を営む自作農となりました。こうした農地改革の成果を守るため、「農業者の経済的・社会的地位の向上」を掲げる農業協同組合法(農協法)が1947年11月に公布され、農協(JA)が全国各地に設立されました。その際に、農協の前身である農業会や産業組合では農民以外も構成員となり事業を利用できたことなどから、農協においても農民以外の地域住民に准組合員として加入の途を開きました。

これまで農協法は度々改正されてきましたが、2015年の改正では、農業の成長産業化を目的とするいわゆる「農協改革」を具体化するための見直しが行われました。JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」等を目指す自己改革に取り組んでいます。また、准組合員についてはこうした目標を後押しするパートナーとして位置づけ、食や農に関わるさまざまな参加の場づくりを進めています。

語句解説

【改正農協法】(かいせいのうきようほう)<2015>

JAが「自由な経済活動を行い、農業所得の向上に全力投球できるようにする」ことを目的としており、農業所得の増大へ最大限配慮することや理事の過半数を認定農業者等にすることが定められました。准組合員の事業利用規制については、政府が施行日から5年間調査等を行った上で結論を出すことが付則に明記されました。

● 1900年 「産業組合法」

ドイツの「産業および経済協同組合法」が基となっている。



● 1947年 「農業協同組合法」

「農業生産力の増進および農業者の経済的社会的地位の向上」を目指す。

▶ 現在の「JA」の誕生

● 1992年 愛称が「JA」に決定



● 2015年 農協法改正

- ・「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」ことが明記された。
- ・理事等構成の変更、中央会制度の廃止などが盛り込まれた。
- ・准組合員の事業利用規制が検討事項に。

▶ 2016年の施行後5年間の調査、結論

耕ぞう、大地と地域のみらい。

ロータリー等を装着したまま 公道走行が可能になりました！

ロータリー等の直装型作業機*を装着した状態のトラクターが、一定の条件を満たした場合に公道走行が可能となりました。周囲の方々への安全を第一に、注意して走行してください。

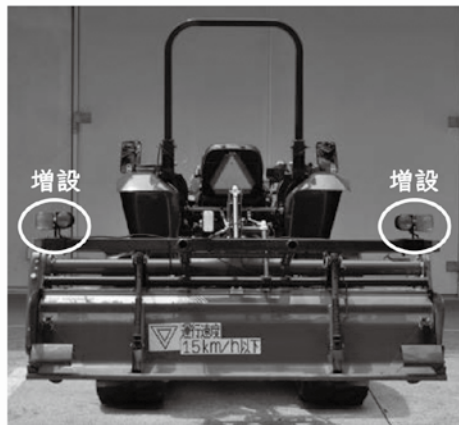
*直装型作業機：けん引タイプではない、ロータリー、ハロー、直装式ブームスプレーヤ、播種機等のトラクターに直接装着する作業機

Q. 「一定の条件」とはどのようなものですか？

A. 灯火器類、作業機の幅、最高速度、運転免許などの確認が必要となります。詳しくはお近くの農機販売店や、地方運輸局、地方農政局、(一社)日本農業機械工業会にご確認ください。

例えば灯火器類なら……

作業機を装着して灯火器類が見えなくなる場合
⇒ お近くの農機販売店で、灯火器類を増設しましょう！




 国土交通省  農林水産省

【お問合せ先】
農林水産省 生産局
技術普及課 03-6744-2111



http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/kodosoko.html

(一社)日本農業機械工業会

日農工 公道走行 



<http://www.jfmma.or.jp/koudo.html>

「自由化は農家の問題」と いうのは、誤っている

自由化は国民の命と健康の問題

自由貿易協定が発効されるたびに、メデイアはこぞって、豚肉、牛肉、チーズ、ワインなどがこんなに安くなる、と喧伝して消費者メリットを「意図的に」強調する。しかし、農産物貿易自由化は農家が困るだけで消費者にはメリットだ、というのは大間違いである。いつでも安全・安心な国産の食料が手に入らなくなることの危険を考えたら、自由化は、農家の問題ではなく、国民の命と健康の問題なのである。

輸入農水産物が安い、安いと言って

いるうちに、エストロゲンなどの成長ホルモン、成長促進剤のラクトパミン、遺伝子組み換え、除草剤の残留、イマザリルなどの防カビ剤と、これだけでもリスク満載。これを食べ続けると病気の確率が上昇するなら、これは安いではなく、こんな高いものはない。

食と病気は不可分の関係にあるが、米国型の食生活と健康との関連については気になる情報がある。例えば、「米国内で生まれた子どものアレルギー疾患率（三四・五％）に比べ、米国外で生まれて米国在住歴が二年以内の子供の疾患率は著しく低かった（二〇・



すずき・のぶひろ

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学教授などを経て、2006年より現職。専門は農業経済学、国際貿易論。著書に『食の戦争～米国の罠に落ちる日本』（文春新書）、『ここが間違っている！日本の農業問題』（家の光協会）などがある。

三％）が、米国へ移って在住歴一〇年以上の子供は在住歴が二年以内の子供と比べると、湿疹では約五倍、花粉症では六倍以上の発症率だった」（二〇一三年四月二十九日の米国医師会雑誌 [Journal of the American Medical Association = JAMA] に掲載された論文）。日米FTAで米国型の食生活がさらに浸透することの危険から日本国民の命と健康な生活を守るためには、日本の安全・安心な食と農の健全な維持が欠かせない。

国産の安全・安心な食料こそ いちばん安い

日本で、十分とは言えない所得でも奮闘して、安心・安全な農水産物を供給してくれている生産者をみんなで支えていくこそが、実は、長期的には最も安いのだということ、食に目先の安さを追求することは命を削ること、子や孫の世代に責任を持てるのかということだ。

貿易自由化の国内農業生産への影響で重要なのは複合的影響である。国内政策や過去の貿易自由化の影響で、すでに農業生産構造の脆弱化が趨勢的に進んでいる。そこに一層の自由化が上乘せされる全体の影響の大きさを見なくてはいけない。これまでの趨勢に新たな自由化の影響を加味すると、牛肉・豚肉の自給率は二〇年後くらいには一〇%台になりかねないとの試算もある。牛丼、豚丼、チーズが安くなって良

かったと言っているうちに、気がついてたら乳がん、前立腺がんが何倍にも増えて、国産の安全・安心な食料を食べたいと気づいたときに自給率が一割になっただけなら、もう選ぶことさえできない。今はもう、その瀬戸際まで来ていることを認識しなければいけない。

そして、日本の生産者は、自分たちこそが国民の命を守ってきたし、これからも守るとの自覚と誇りと覚悟を持ち、そのことをもっと明確に伝え、消費者との双方向ネットワークを強化して、地域を喰いものにしようとする人を跳ね返し、安くても不安な食料の侵入を排除し、自身の経営と地域の暮らしと国民の命を守らねばならない。それこそが強い農林水産業である。

農家への直接支払いは消費者補助金

農業政策を「農業保護はやめろ」と

いう議論に矮小化して批判してはいけない。農林水産業を支えることは国民の命を守ることだ。カナダ政府が三〇年も前からよく主張している理屈であるほどと思ったことがある。それは、農家への直接支払いというのは生産者のための補助金ではなく、消費者補助金なのだというのだ。

なぜかというと、農産物が製造業のようにコスト見合いで価格を決めると、人の命にかかわる必需財が高くて買えない人が出るのは避けなくてはならないから、それなりに安く提供してもらうために補助金が必要になる。これは消費者を助けるための補助金を生産者に払っているわけだから、消費者はちゃんと理解して払わなければいけないのだという論理である。この点からも、生産サイドと消費サイドが支え合っている構図が見えてくる。

するーライフ 2章

「地球環境改善を求めた座り込み・・・16歳のスウェーデン女性」

1923年大正12年9月1日関東大震災が発生した。その事を夕刊の隅っこの記事が今年も伝えた。その中に俳人「富田木歩」に触れた内容が添えられていた。彼はこの大震災の炎の中で逝った。享年27歳だった。隅田川沿いの向島に眠り句碑も墨田区の三囲神社に建てられている。「夢に見れば死もなつかしや冬木風」今はスカイツリーがこの界隈のにぎわいを醸し出している。現在は関東大震災の痕跡は完全に消え住環境も大きく変化してしまった。ここまで綴って来て「木歩」に触れる手が止まった。10月12日夜半に関東東北甲信越に上陸した台風19号が猛威を振るい各地に大きな爪跡を残した。この現実に触れずして何をか言わんやの気持ちが沸き起こった。10月16日現在今回の災害で亡くなった人は80名に迫る。堤防の決壊は52河川の73箇所及び、堰を切った濁流が田畑果樹園そして住宅を呑み込んで行く映像は全国に発信された。



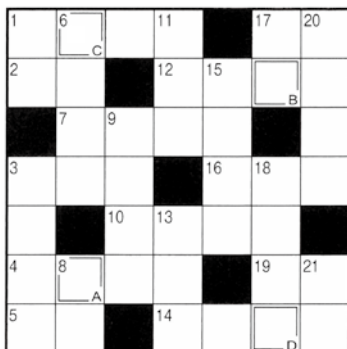
2011年3月に発生した東日本大震災の大惨事から8年の歳月が流れた。その間2012年7月には九州北部豪雨で多くの河川の氾濫が起き、住宅破壊や農産物などが大きな被害に見舞われた。そして記憶も新しく台風15号は千葉県全域に猛威を振るった。強風は電柱をなぎ倒し、長い間全域は停電断水に陥り生活インフラの弱点を露呈した。

地球の温暖化による全国の気象変化は顕著に現れ、海水温の上昇は海流を変化させ水産物の漁獲量の激減を見た。1997年日本の京都市で開催された第3回気候変動枠組条約締結国会議でも温室効果ガス削減率の目標値について討議された。すでに今日の地球温暖化による気象変化を見据えている。その後、回を重ねて18年ぶりに第21回会議がパリで開催されたが、世界2位の温室効果ガス排出国であるアメリカは「アメリカの製造業の競争力を削ぐものだ」と主張し批准国から離脱した。2017年6月のことである。

その批准国から離脱したアメリカ本土でも地球温暖化による未曾有の気象災害は発生し多くの被害を生んでいる。2019年9月24日開催国連の温暖化対策サミットで16歳のスウェーデン女性グレタ・トゥーンベリさんが演壇に立った。地球環境の改善を求めてひとり座り込みから始まった彼女の活動は、国連のサミットの首脳達まで動かした。

「絶滅の始まり、あなた達は私の夢や子供時代を空っぽの言葉で盗んだのです」電気自動車の実用化が進んでいる。英国に始まった産業革命から時代は流れた。化石燃料に依存した時代は更に超スピードで進化した。ただ遅れを取ったのが副産物の温室効果ガスへの対応だった。文明の進化を上回る速さで、地球規模でのルールが締結遵守される日を切望せずにはおられない。世界は曲がり角に指しかかっている。氷河期を経て現在の地球は存在する。そしてその真逆の現象が地球に迫る。

パズル? 頭の体操



夕デのカギ

- 1 ビーヒヤラと吹きます
- 3 ご指導ご—のほどよろしくお願ひします
- 6 車を運転するのはドライバー、バイクの場合は
- 8 日本人の主食です
- 9 ピサの斜塔がある国
- 11 穂が美しい野草
- 13 大きく立派な家のこと
- 15 彼は上司にも—置かれる存在だ
- 17 生兵法は大—のもと
- 18 果物のこと。和食のコースでデザートこ呼ぶことも
- 20 映画や小説の大まかな内容のこと
- 21 富有、次郎などの品種があります

ヨコのカギ

- 1 ボジョレー・ヌーボーを輸出する国
- 2 沖縄の海にいるマンタもこの仲間
- 3 アルファとガンマの間です
- 4 一つのコンセントに多くの機器をつなぐ—配線
- 5 マニキュアを塗る物
- 7 とても良いとされるおみくじの運勢
- 10 不要な部分を省いて描きます
- 12 灰皿にたまる物
- 14 結婚式を行うこと
- 16 カエデの別名です
- 17 化粧水や乳液でスキンケア—をした
- 19 絵を描く職業の一つ

先月号の答え

パズル? 頭の体操



解答 A B C D E
ジャガイモ

J Aのあゆみ 10月

- 1日 中央会内部監査
(期中19/30/10/4)
- 5日 北海道枝肉共助会(帯広)
- 7日 上川地区農協組合長会道外視察研修
(9日 蘭西)
- 10日 新世紀JA研修会第27回セミナー
(11日)
- 14日 JAグループかみかわ農業祭(旭川)
- 18日 留萌上川宗谷合同常参会議研修
(19日)
- 21日 JA青年部役員会
令和2年度新規採用試験・面接
- 22日 即位礼正殿の儀
- 23日 第9回定例理事会
- 24日 北海道もち米団地農協連絡協議会道外視察
(26日 沖縄)
- 28日 愛別町振興計画審議会(役場)
上川町廻まつり
委員会
第2回上川中央部JA将来構想検討委員会
- 29日 愛別町農業委員会(役場)

組合員のうごき

(令和元年9月24日)

総組合員数	2,357名
正組合員数	530名
うち団体数	33団体
准組合員数	1,827名
うち団体数	62団体

第8回定例理事会

令和元年9月24日開催

- 1 ■報告事項
燃料手当の支給について
第7回理事会承認内容に基づき、支給内容を報告した。
- 2 ■固定資産の取得について
1件の取得内容について報告した。
- 3 ■令和元年度JA共済コンプライアンス点検結果について
点検結果について報告した。
- 1 ■議事
組合員の加入報告並びに組合員資格について
4名の新規加入が承認された。
- 2 ■第2四半期JA監事監査の結果並びに顛末について
監査結果に基づき顛末を報告し、今後の改善対応について承認された。
- 3 ■長期資金の融資について
1件の融資について承認された。
- 4 ■理事に対する資金の融資について
1名の理事に対する融資について審議の結果、承認された。

《追加議案》

- 1 ■報告事項
コンプライアンス規程に基づく事故報告について
事故内容、及び今後の再発防止策について報告した。
- 1 ■議事
酪農畜産草地更新事業について
1件の実施計画について協議し、承認された。

大変お世話になりました

大澤 佑梨

総務部総務課総務係

(10月31日付)

正職員↓臨時職員

渡辺 和彦

当農部営農販売課営農販売係

※9月30日定年退職
(10月1日付)

岡田 健

当農部上川営農センター
営農販売係

※10月31日定年退職
(11月1日付)

伊藤 方人

購買部資材課上川資材係

※10月31日定年退職
(11月1日付)

仕事で即戦力！
準中型免許



運転楽しい！
マニュアル免許



らくらく！
オートマ免許



お申込は当JA窓口まで

- 普通 一種／二種
- 中型 一種／二種
- 準中型
- 大型 一種／二種
- 大型特殊
- けん引
- 普通二輪
- 大型二輪

公安委員会指定
北海道クミアイ自動車学校

旭川市永山北3条8丁目182-1 ☎0120-887-931
http://h-kumiai.com/ TEL 0166-48-1141

11月29日(金) 営業時間変更のお知らせ

役職員コンプライアンス研修会の開催にともない、下記のとおり営業時間を変更させていただきます。

JAではコンプライアンス委員会を設置し、法令遵守する公正で誠実な経営を実践することを目的に研修会を開催しています。

組合員の皆様には営業時間変更にともないご不便お掛けいたしますが、ご理解頂きますようお願い申し上げます。 記

- 月 日 11月29日(金) 15:30まで
- 部 署 全て(総務・金融・営農・資材・給油所・農機妙-・精米所)



作り方

- (1) 白身魚の切り身に塩を振り1時間ほど置く。
- (2) 鍋に合わせだし汁の材料を入れて沸かし、ばらしたシメジ、酢水(材料外)でしっかりゆでた食用菊、四つ切りにしたミニトマトを入れ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- (3) (1)に打ち粉をし、蒸し栗は砕いておく。フライパンにサラダ油を入れ180度まで熱し、白身魚と蒸し栗を別々に揚げる。
- (4) 揚げた白身魚を器に盛り、(2)を回し掛け、揚げた栗を散らし、彩りでディルなど(材料外)を添える。

白身魚の揚げだし
菊花あん

今月の
オススメ

材料(2人分)

白身魚(マダイなど)	100g(2切れ)
塩	適宜
打ち粉用片栗粉	大さじ1
蒸し栗	5粒
シメジ	1パック
ミニトマト	3個
食用菊	適宜
サラダ油	適宜
水溶き片栗粉	大さじ1

合わせだし汁

かつおだし	1カップ
薄口しょうゆ	大さじ1
みりん	大さじ1

11月は、労働保険適用促進強化期間です！

事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか？

労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。

農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。



【お問い合わせ先】

厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課 (011-709-2311)
または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所(ハローワーク)